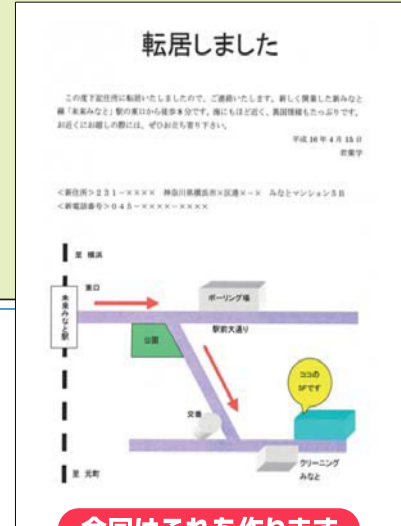


地図入りの 転居通知を作る

今回は、右のような地図入りの
転居のお知らせを作ります。
まず、本文を入力した後、ワ
ードの「図形描画」という機能
を使って、道路と線路を描きま
す。道路は色を変え、線路は太
い点線を使って描きます。
次に、自宅や目印となる建物、
公園を描いていきます。自宅に
は吹き出しを付けてひと目でわ
かるようにします。駅は「テキ
ストボックス」を使います。
最後に、公園に色を付けたり、
建物を立体的に表示させたりし
て目立たせたら、完成です。



今回はこれを作ります

ポイント

オート
シェイプ

目的地や目印
道順や吹き出しを描く

テキス
トボク
ス

建物を描き
地名を入力する

書式設定

直線を太くして
色を付ける

3-D
スタイル

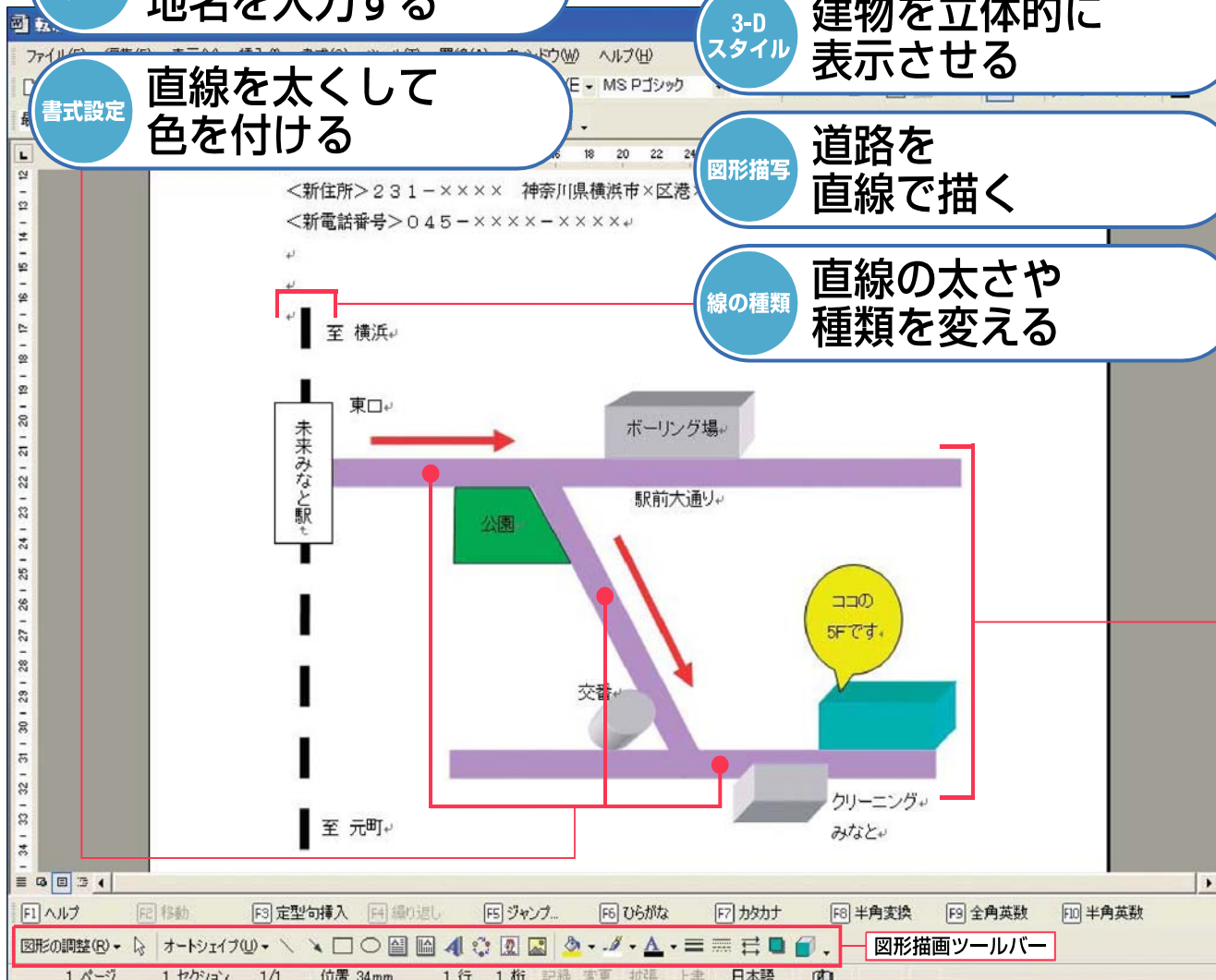
建物を立体的に
表示させる

図形描写

道路を
直線で描く

線の種類

直線の太さや
種類を変える



見出しとあいさつ文を入力する

ワードを起動したら、まずは転居を知らせる文章をすべて入力します(図1)。

次に、「転居しました」という文字を大きくし**フォント**も太いものに変えて目立たせましょう(図2～図4)。文字を目立たせたら、今度は**ツールバー**の「中央揃え」をクリックして、文字を文書の中央に配置します(図5)。

次に、日付と名前を書いた行をクリックし、「右揃え」をクリックして文書の右に寄せます(図6～図9)。

1 文字の大きさ、書体を変え配置を整える

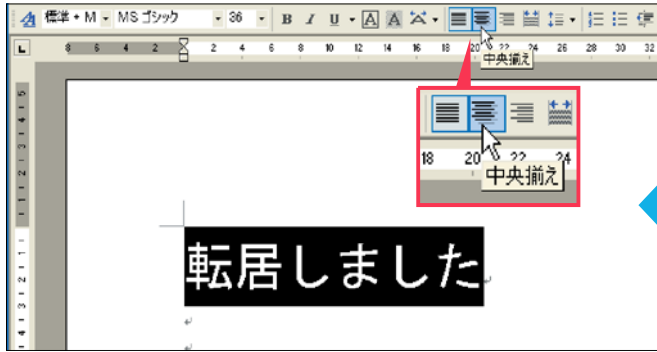


図5 さらに「中央揃え」をクリックする。

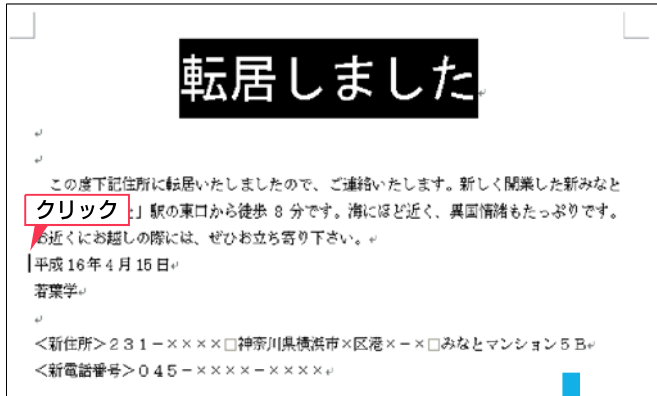


図6 「転居しました」という文が、文書の中央に配置された。今度は日付の行をクリック。



図7 「右揃え」をクリックする。

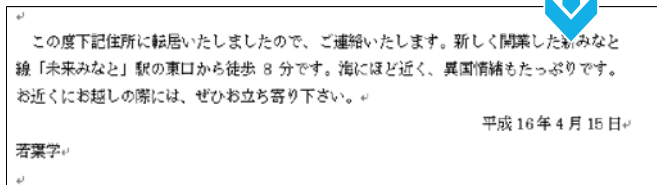


図8 日付が文書の右端に配置された。

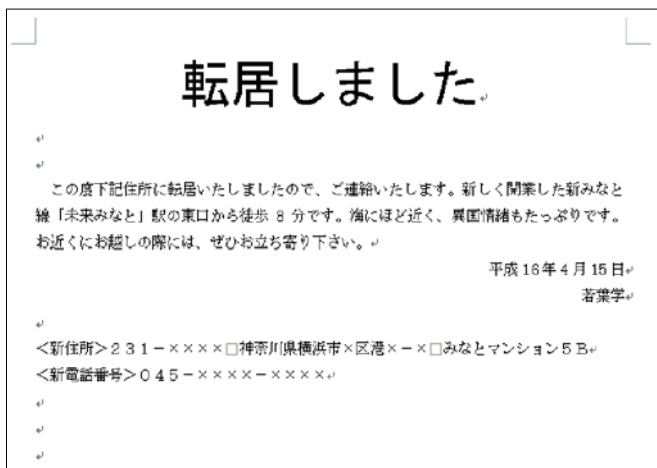


図9 同様に、氏名が書かれた行も文書の右端に配置する。

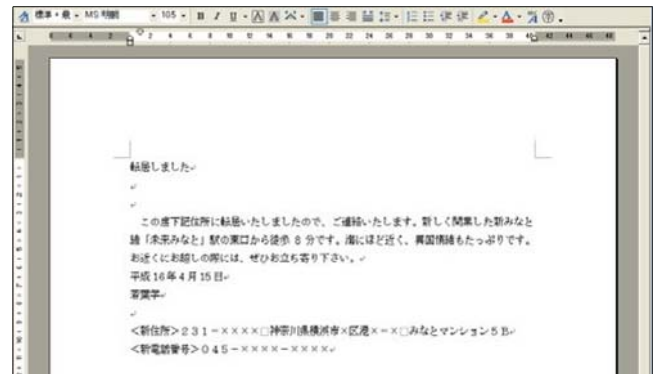


図1 転居を知らせる文章をすべて入力する。

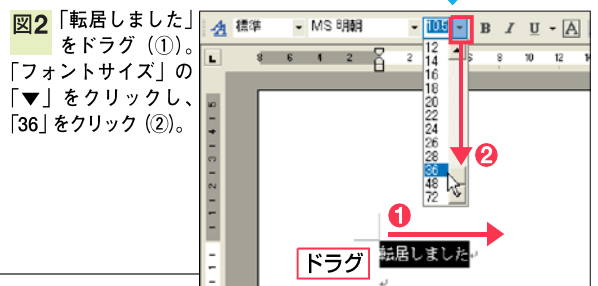


図2 「転居しました」をドラッグ(1)。「フォントサイズ」の「▼」をクリックし、「36」をクリック(2)。



図3 「転居しました」の文字が大きくなった。

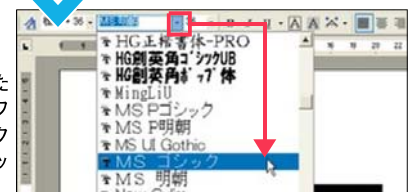


図4 文字が選ばれた状態のまま、「フォント」の「▼」をクリックし、「MSゴシック」をクリックする。

フォント／書体のこと。明朝体、ゴシック体のほか、毛筆やペンで書いたような書体など、様々な種類がある。
ツールバー／よく使う機能を、メニューの代わりにアイコンにして並べたもの。ソフトによって、ツールバーには様々な種類がある。

直線で道路を描き色や太さを変える

道路を描くときは、「図形描画」機能を使います。ツールバーの「図形描画」をクリックすると、画面の下に描画用のバーが現れるので、「直線」をクリックします（図1）。「描画をここに作成します。」という表示を消し（図2）、ドラッグして線を引きます（図3、図4）。次に「書式設定」の画面を開き、線を太くして、色を紫に変えます（図5～図8）。残りの道路は「Ctrl」キーを使ってコピーし、三本目はドラッグして長さを調整します（図9～図11）。

1 図形描画機能で道路を描く

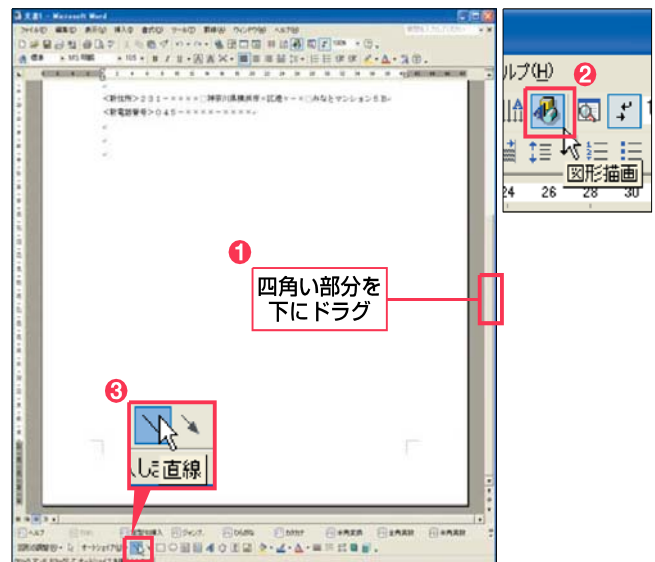


図1 画面右の長い四角の部分を下にドラッグし(1)、「図形描画」をクリック(2)。画面下で「直線」をクリック(3)。

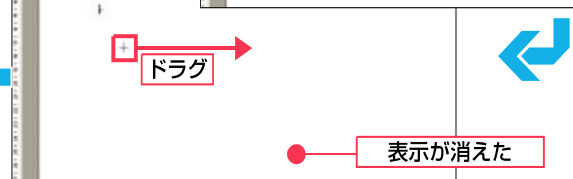
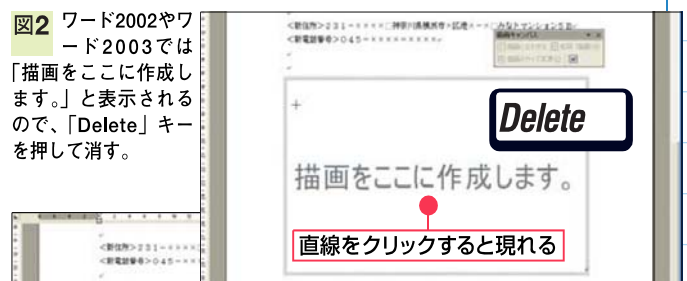


図3 ポインターが十字になっているので、マウスを右にドラッグする。

図4 直線が引かれた。直線の両端に「○」が付いているのは、直線が選ばれていることを示している。

2 線に色を付け太くする



図5 直線が選ばれた状態で右クリックし、「オートシェイプの書式設定」をクリック。

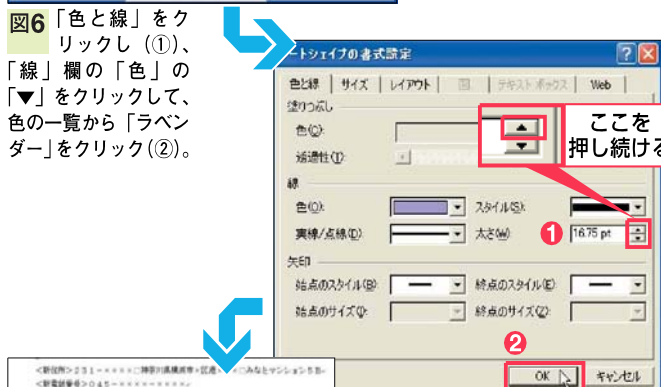


図6 「色と線」をクリックし(1)、「線」の「色」の「▼」をクリックして、色の一覧から「ラベンダー」をクリック(2)。

図8 色が付き、太くなって道路らしくなった。

3 同じ線はコピーして作る線の長さを調整する

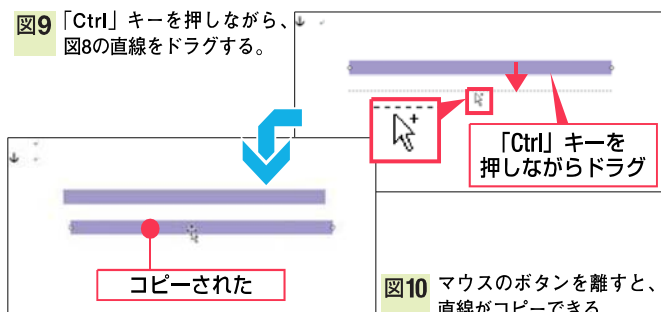


図10 マウスのボタンを離すと、直線がコピーできる。

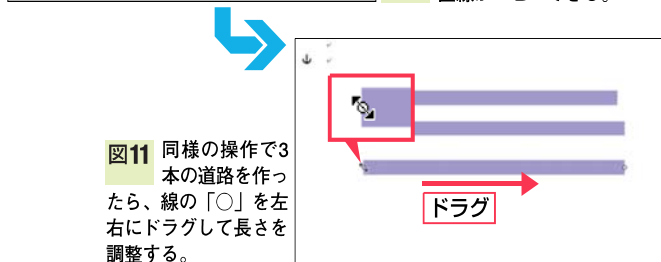


図11 同様の操作で3本の道路を作ったら、線の「○」を左右にドラッグして長さを調整する。

2 ボタンを使って 線の種類や太さを変える

図6 29ページ図1のように「図形描画」で「直線」を選ぶ①。ポインターが「+」になったら、文書の左側で下にドラッグ②。



図7 縦の直線が引けた。

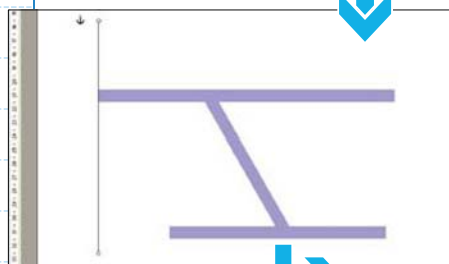


図8 「線の種類」をクリックし、「6pt」をクリックする。

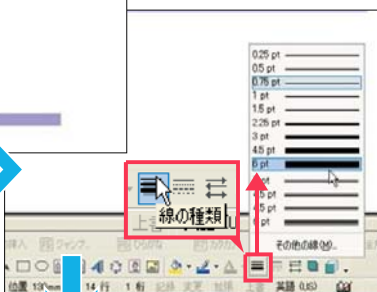


図9 図7の直線が太くなった。

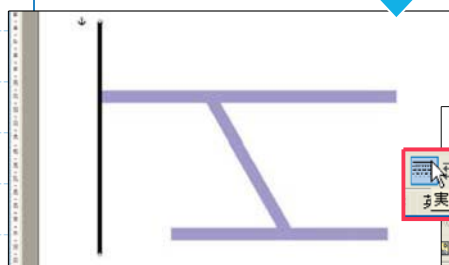


図10 「実線/点線のスタイル」で「破線」をクリック。

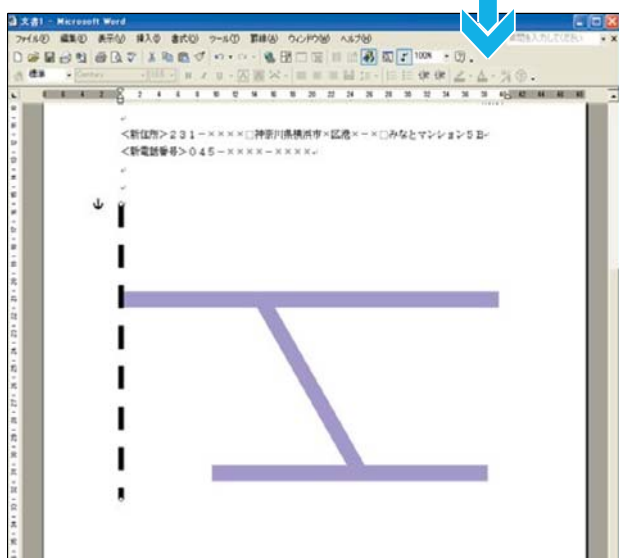
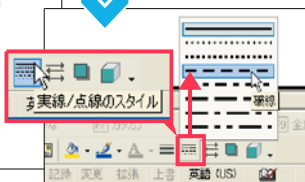


図11 実線が点線に変わった。

直線の配置を整え 線路を点線で描く

今度は三本の道路の配置を整えます。道路を移動したいときは、線をクリックしてからその上にポインターを合わせ、十字の両端矢印になったところでドラッグします(図1)。

道路は向きを変えることもできます。図2のようにして線の片端を上下に移動すると、斜めになります(図3・図5)。

次に線路を描きましょう。線を引いたら、画面下の「線の種類」「実線/点線のスタイル」をクリックし、線を太くして点線に変えます(図6・図11)。

1 直線を移動し 向きを変えて斜めの線に

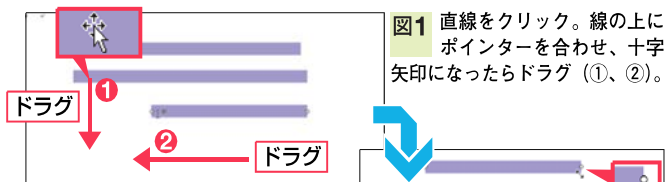


図1 直線をクリック。線の上にポインターを合わせ、十字矢印になったらドラッグ①、②。

図2 道路を斜めにする。道路をクリックし、「O」にポインターを合わせる。

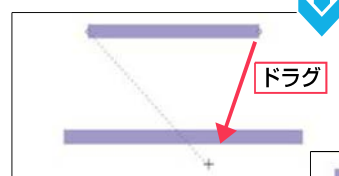


図3 図2でポインターが両端矢印に変わったところで、下方向にドラッグ。

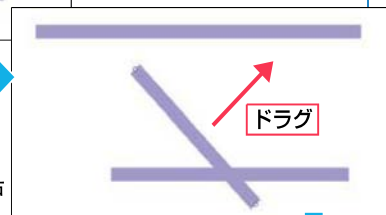


図4 線が斜めになった。この後右上に移動する。

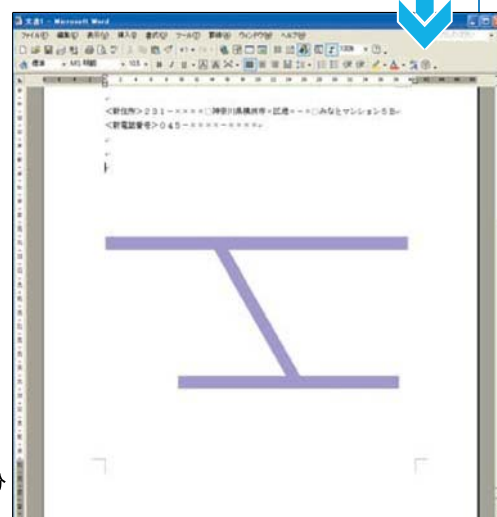


図5 地図の道路部分が完成した。

図5 道との境目をクリックし (①)、ポインターを動かし次の角でクリック (②)。同じ要領でクリックしていき (③④)、最初にクリックした場所に戻ったら、そこでクリック (⑤)。

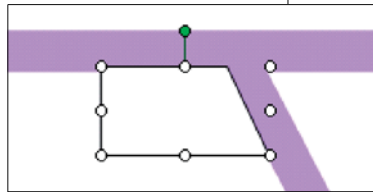
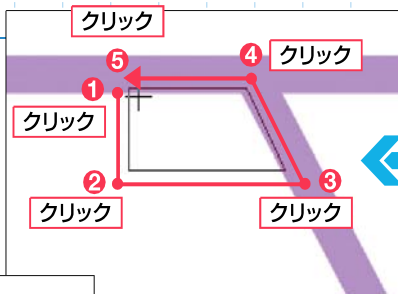


図6 台形が描けた。これが公園になる。

建物や道順を描き 目的地を目立たせる

最初に、自分の家と目印になる建物を描きます。画面下で「四角形」や「楕円」をクリックし、建物を描きたい場所ですラッグします (図1～図3)。公園のように「四角形」で描けない形は、**オートシェイプ**の「フリーフォーム」を使って作ります (図4～図6)。道順は「矢印」で描きました (図7、図8)。

自宅は「吹き出し」を付けて目立たせます (図9～図11)。フォントを「MS Pゴシック」にして、文字も見やすくなりました。

2 矢印で道順を描き 目的地に吹き出しを付ける

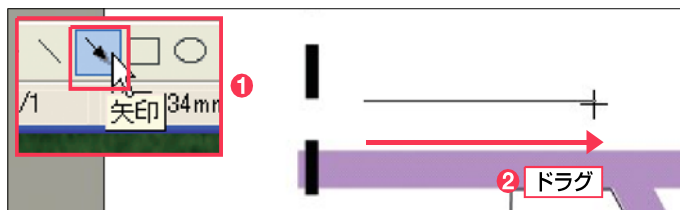


図7 「矢印」をクリックし (①)、道路と平行にドラッグする (②)。

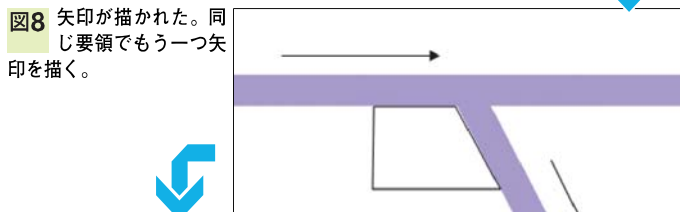


図8 矢印が描かれた。同じ要領でもう一つ矢印を描く。

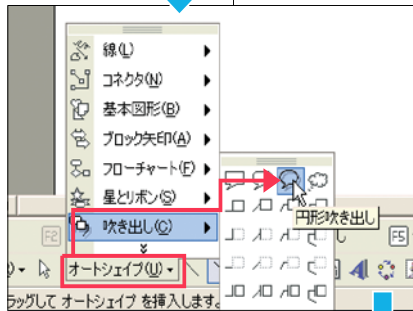


図9 「オートシェイプ」→「吹き出し」→「円形吹き出し」とクリック。

図10 自宅の四角形の上で斜めにドラッグすると、吹き出しを描ける。

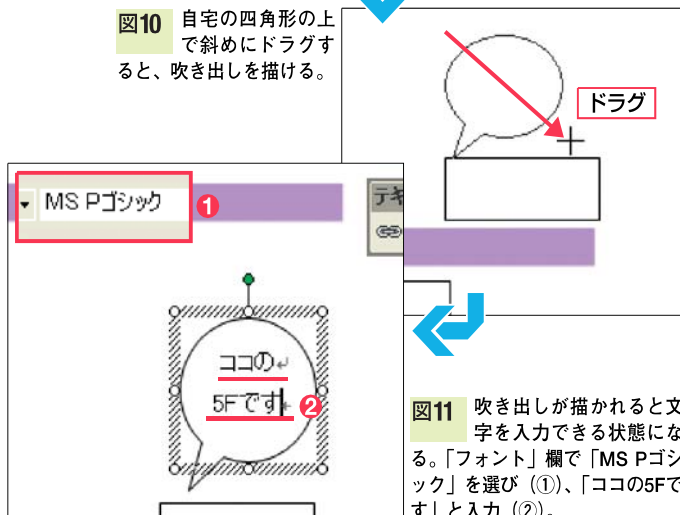


図11 吹き出しが描かれると文字を入力できる状態になる。「フォント」欄で「MS Pゴシック」を選び (①)、「ココの5Fです」と入力 (②)。

1 四角形や楕円と フリーフォームで描く

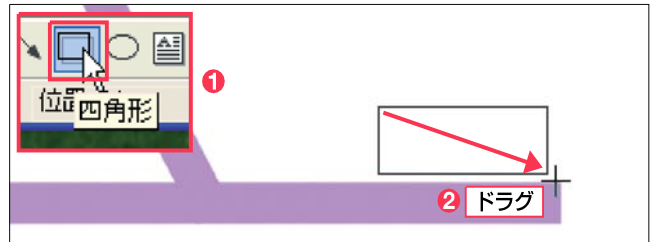


図1 「四角形」をクリックし (①)、自宅を描きたい場所で斜めにドラッグ (②)。ほかの目印も同様に描く。

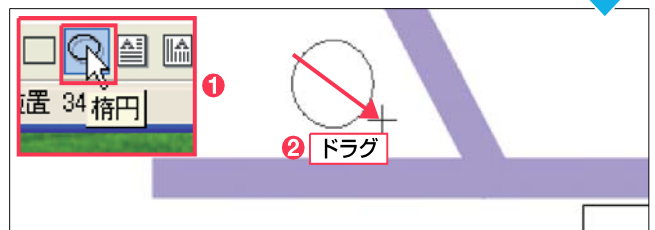


図2 交番は円で描く。「楕円」をクリックし (①)、斜めにドラッグ (②)。

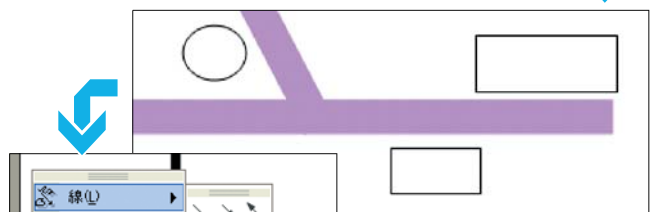


図3 自宅と周辺の建物が描けた。

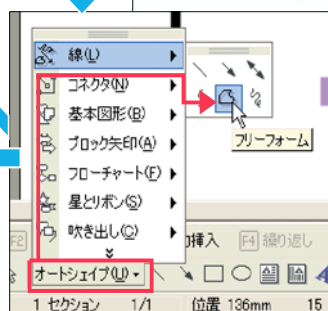


図4 「オートシェイプ」→「線」→「フリーフォーム」とクリック。

2 テキストボックスの枠を消す

図5 「至 横浜」「交番」なども横書きのテキストボックスで入力する。文字を入力したら、テキストボックスを右クリックし、メニューから「テキストボックスの書式設定」をクリック。

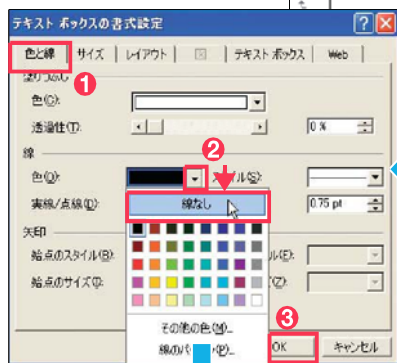


図6 この画面で「色と線」をクリックし (1)、「線」欄の「色」にある「▼」をクリックして「線なし」をクリック (2)。「OK」をクリック (3)。

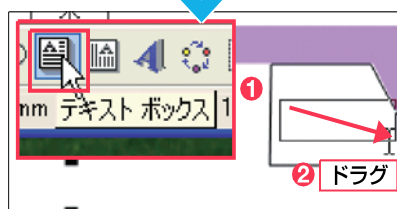


図7 「テキストボックス」をクリックし (1)、フリーフォームで描いた図形の上でドラッグする (2)。

図8 フォントを「MS Pゴシック」にし (1)、「公園」と入力する (2)。

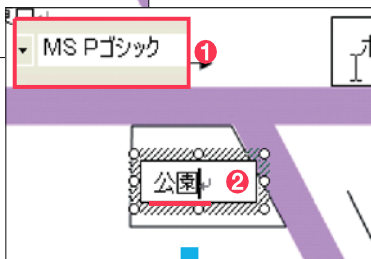


図9 図5、図6と同じ要領で「テキストボックスの書式設定」を開き、「塗りつぶし」欄の「色」は「塗りつぶしなし」に (1)、「線」欄の「色」は「線なし」にして (2)、「OK」をクリック (3)。

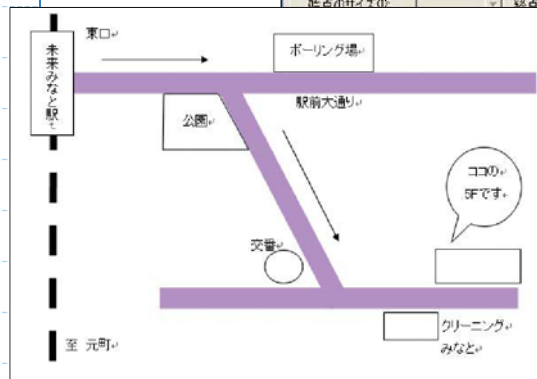
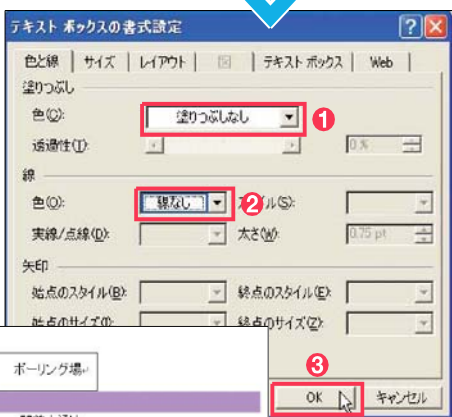


図10 ほかの建物の名前や通りの名称も同じように入力していこう。

地名や建物名などを

続いて駅などを描きます。四角形の中に文字を入力できる「テキストボックス」を使うと便利です (図1～図4)。テキストボックスには縦書きと横書きがあり、駅は縦書き、ボーリング場は横書きを使用しました。「至 横浜」のような情報や、すでに描いた建物の近くに「交番」などの名称を入れたときも、テキストボックスで入力し、後で枠を消します (図5、図6)。公園は、後で色を付けるので、「塗りつぶし」の色もなくておきます (図7～図9)。

1 テキストボックスで駅や建物の名称を描く

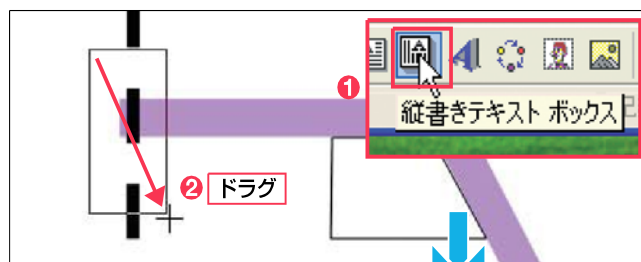


図1 「縦書きテキストボックス」をクリックし (1)、道路と線路が重なった場所でドラッグ (2)。

図2 文字が入力できる状態になるので、フォントを「MS Pゴシック」にし (1)、駅名を入力する (2)。

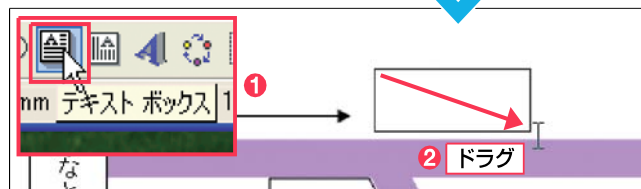
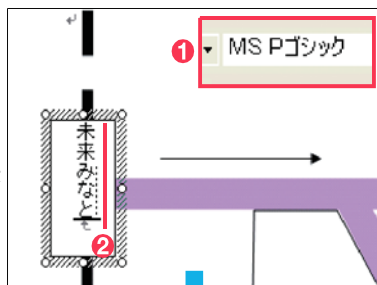


図3 「テキストボックス」をクリックし (1)、建物を描きたい場所でドラッグする (2)。

図4 図2と同様、「MS Pゴシック」にし (1)、建物の名称を入力 (2)。

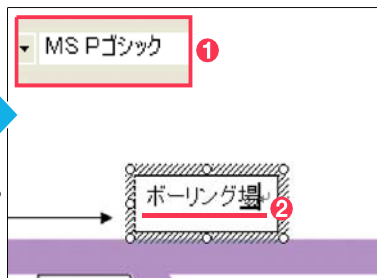


図4 矢印が赤くなり、幅も太くなった。もう1本の矢印も同じ要領で変えた。



図5 「公園」にポインターを合わせて右クリックし、「オートシェイプの書式設定」をクリック。図2と同じ要領で「塗りつぶし」欄の「色」を「明るい緑」にし、「OK」をクリックする。

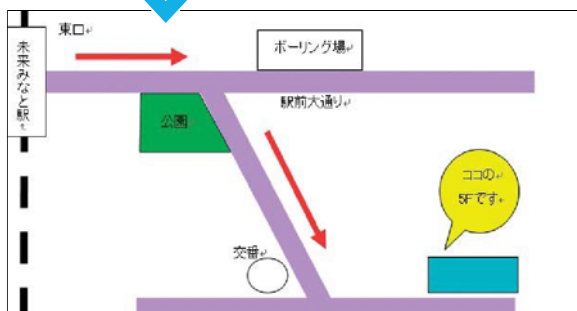


図6 「公園」が緑色に変わった。同様の操作で自宅の色を「水色」に、吹き出しを「黄色」に変える。

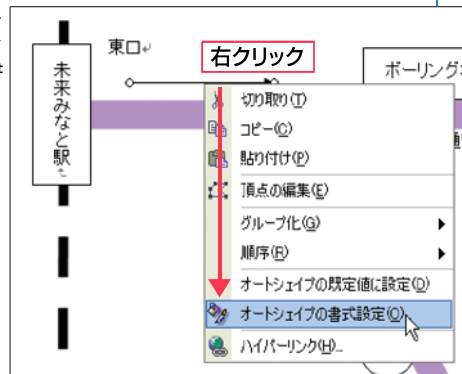
建物の色を変え 立体表示させる

最後に地図を仕上げます。まず、矢印に色を付けて太くします(図1~図4)。公園や自宅、吹き出しも、同様に色を付けました(図5、図6)。

四角形や楕円で描いた建物は、立体的にすると建物らしくなります。これは建物の図形を選んでから、「3-Dスタイル」で気に入った形を選ぶだけです(図7、図8)。後は、建物の配置を調整します。図形をクリックし、ポインターが十字の両端矢印の形になったら、ドラッグして移動します(図9)。

1 書式設定で色を変える

図1 矢印にポインターを合わせて右クリックし、「オートシェイプの書式設定」をクリック。



2 建物を立体的にして位置を調整する

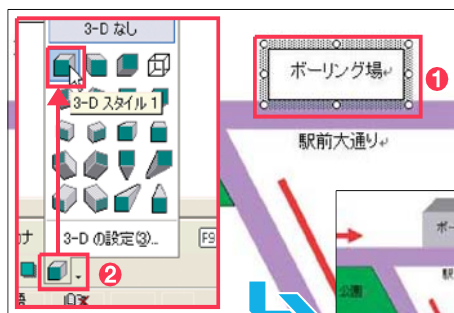


図7 「ボーリング場」をクリックしたら(①)、「3-Dスタイル」→「3-Dスタイル1」とクリックする(②)。

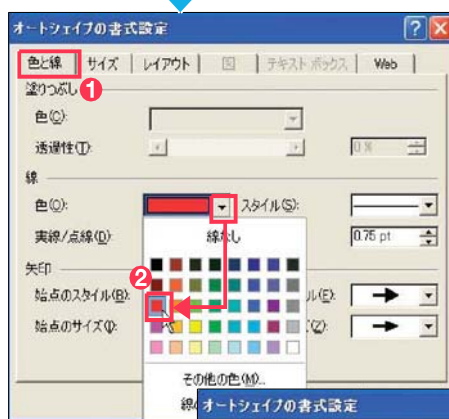


図2 この画面で「色と線」をクリックし(①)、「線」欄の「色」の「▼」をクリックして「赤」をクリックする(②)。

図8 建物らしく立体的に表示された。同様に自宅も「3-Dスタイル1」、「交番」と「クリーニングみなと」は「3-Dスタイル3」を選ぶ。

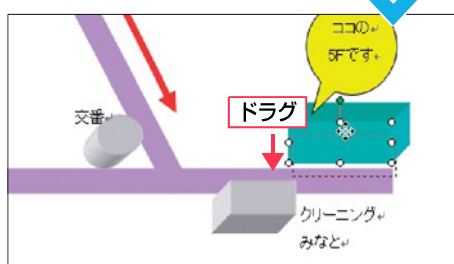


図9 自宅をクリックし、ポインターを置く。形が十字の両端矢印になったら、建物が道路に接するようになるまでドラッグする。ほかの建物の位置も調整したら、「上書き保存」ボタンを押して名前をつけて保存する。完成したら、印刷しよう。

図3 続いて「太さ」の「▲」をクリックして「4.5pt」にする(①)。「OK」をクリック(②)。

